

事業報告書（令和4年度）

事業名 自然探検「セミの抜け殻調査」、「セミと遊ぼう！」

団体名 特定非営利活動法人岡山市子どもセンター 担当者名 廣川 祐子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

「セミの抜け殻を探そう」 講師：山田哲弘

令和4年7月18日(月・祝) @国際児童年記念公園こどもの森 参加者 24名



木の上や葉っぱについた抜け殻を採取して、それを種類ごとに分け、総数を数えます。集めた抜け殻は最後に作品にしました。今年も10年以上参加している高校生の女の子が講師（山田先生）の助手として、説明をしました。

「セミと遊ぼう！」 講師：多田正和

令和4年7月31日(日) @国際児童年記念公園こどもの森 参加者19人



始まって早々、まさかの通り雨にあいましたが、何とかセミを捕まえることができました。捕まえたセミは、観察した後で用意した蚊帳に放してみました。生きて動く（飛び回る）セミの羽音を聞き、羽を動かして飛ぶ時の空気の動きを感じ、身近すぎるセミとのふれあいに苦戦しながらも、セミが今まで以上に好きになった一日でした。

2. ESDの視点
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか
<p>「セミの抜け殻調査」では、木の幹についているセミの抜け殻を実際に手に取り、セミの種類によって異なる抜け殻の特徴を詳しく知る機会となりました。これまでの調査結果から、個体数調査により地球温暖化の影響を受けていること等、環境問題につながっていることを身近なこととしての学びとなりました。</p> <p>「セミと遊ぼう！」では、実際に生きたセミに触れ、その個体を見ることで種類ごとに形・大きさ・色等の違いがあることを知る機会となりました。また、直接触り、鳴く声を聞くことによってセミがより身近な生き物となっていきました。講師と考察をする中で、セミを通して環境や命について深く考える機会にもなりました。</p>
② どのように学び合いを取り入れたか
<ul style="list-style-type: none">・参加する子どもたちが楽しく調査できるよう、子ども目線や子どもの声（つぶやき）を大切にフィールドワークを行いました。・事業終了後、ふりかえりの会を行い、参加者の素朴な気づきなどを共有し、意見交換を行いました。参加する人（大人、子ども）にとってどうかという視点を学び、次年度に生かしていきたいと思えます。
③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか
<p>セミの抜け殻調査の結果を気候の移り変わりのデータと共に、大学生やアドバイザーと共にまとめていくことで、多角的で深い学びとなりました。</p> <p>継続実施する中で、PDCAを行い、学びを実践につなげていくことができました。</p>
3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）
① 子どもの自然体験の減少
<p>夏休みに親子で参加する機会を設けることで、暑い中でも楽しみながらセミや自然に親しむことができました。そして、はかない命のセミの一生に思いを寄せ、自然の不思議や神秘さに触れることができました。</p>
② 持続可能な社会づくり
<p>継続して実施することで、セミの抜け殻の個体数、子どもたちの意識の様子など、前年度との違いを意識して活動することができました。</p> <ul style="list-style-type: none">・山陽新聞の取材を受け、10年間継続して取り組んできた「セミの抜け殻調査」について多くの方に知ってもらうことができました。細々続けてきたことだったが、メディアの反響は大きく、調査内容について市民の方から問い合わせが数件ありました。これも嬉しい成果でした。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

- ・参加した子どもたちが継続して参加し、主催者側のスタッフとして活躍するようになることを期待しています。そして、生き物、自然、環境等への興味関心が高まり、その分野で何らかの関わりを持ちながら、生き生きとした大人に成長し、次世代の子どもたちと楽しみながら ESD について考える…ようなサイクルができることを夢見ています。また、岡山市中心市街地にある公園「こどもの森」での調査結果をデータとして蓄積し、大学生やアスエコの職員の方々と共に調査データとしてまとめ、岡山市中心市街地の環境の変化を発信できるようにしていきたいと考えています。この取り組みを継続して関わっている子どもたち自らが活動の様子や実践した感想などを発信（例えば ESD カフェなど）できるようにしていきたいです。